

議 事 録

会 議 名	令和5年第4回知多警察署協議会（定例会）																		
日 時 ・ 場 所	令和5年11月29日（水） 午後2時から午後3時40分までの間 ----- 知多警察署講堂																		
出 席 者	1 委員 <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 33%;">佐藤 茂樹</td> <td style="width: 33%;">会長</td> <td style="width: 33%;">川崎 徹夫</td> <td style="width: 33%;">副会長</td> </tr> <tr> <td>竹内 佳代子</td> <td>委員</td> <td>竹内 久幸</td> <td>委員</td> </tr> <tr> <td>大島 義史</td> <td>委員</td> <td>深谷 昌弘</td> <td>委員</td> </tr> <tr> <td>星川 裕子</td> <td>委員</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p style="text-align: right;">以上7名（定数8名）</p> ----- 2 警察署員 <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;"> 栞山署長 吉田警務課長 藤田生活安全課長 田口刑事課長 伊藤警備課長 </td> <td style="width: 50%;"> 宇都野副署長 水野会計課長 兵頭地域課長 佐藤交通課長 </td> </tr> </table> <p style="text-align: right;">以上9名</p> ----- 3 有識者等 なし	佐藤 茂樹	会長	川崎 徹夫	副会長	竹内 佳代子	委員	竹内 久幸	委員	大島 義史	委員	深谷 昌弘	委員	星川 裕子	委員			栞山署長 吉田警務課長 藤田生活安全課長 田口刑事課長 伊藤警備課長	宇都野副署長 水野会計課長 兵頭地域課長 佐藤交通課長
佐藤 茂樹	会長	川崎 徹夫	副会長																
竹内 佳代子	委員	竹内 久幸	委員																
大島 義史	委員	深谷 昌弘	委員																
星川 裕子	委員																		
栞山署長 吉田警務課長 藤田生活安全課長 田口刑事課長 伊藤警備課長	宇都野副署長 水野会計課長 兵頭地域課長 佐藤交通課長																		
諮 問 事 項 等	地域住民の安心感を醸成する地域警察活動について																		
答 申 等 の 概 要	1 身近で親しみが持て、話のできる会合、講話 2 より親しみやすい交番だより 3 お互いに顔と名前が見える巡回連絡																		
そ の 他	次回開催予定 令和6年2月																		

会議の経過及び発言の要旨	
1	署長挨拶
2	会長挨拶
3	管内の交通事故発生状況（交通課長説明）
4	管内情勢及び前回の答申に基づく推進状況（生活安全課長説明）
	（1）管内の犯罪発生状況
	（2）諮問事項
	ア 手口に沿った各種対策の住民への浸透方策
	イ 特殊詐欺防止対策機能付き電話機の普及方策
	（3）答申事項
	ア 音をキーワードとした特殊詐欺被害防止広報
	イ 補助金制度の周知といろいろな機会での対策機能付き電話機の紹介
	（4）具体的取組施策の推進
	ア 答申事項アについて
	前兆電話認知時の市役所と連携した行政防災無線での速やかな広報
	「特殊詐欺被害防止ゼロの日」の設定（毎月19日、31日）
	イ 答申事項イについて
	適時適切な広報（手口がわかりやすいチラシの作成）
	祭事での防犯広報（サポートレディースとの寸劇）
	家電量販店への対策機能付き電話機など特設ブース設置の働きかけ
	高齢者が集まる場所への広報（医療機関、喫茶店組合、老人クラブ 連合会等を通じた広報）
5	諮問事項及び選定理由（地域課長説明）
	記録者
	警務係長

会議の経過及び発言の要旨	
(1) 諮問事項	
地域住民の安心感を醸成する地域警察活動について	
(2) 諮問事項の設定理由	
新型コロナウイルスまん延防止のため、令和2年以降、地域警察官による巡回連絡や各種会合への出席等を自粛していた影響により、警察官が地域住民と直接顔を合わせて話をする機会が大きく減った。	
安心して暮らせる安全な社会を実現するためには、地域住民との協力が必要不可欠であり、最も接する機会の多い地域警察官をもっと身近に感じてもらいたいと考えている。	
現在、各種警察活動も社会情勢に合わせ、コロナ流行以前の活動を再開し始めたことから、この機会を好機と捉え、地域住民の代表である委員の方々から「地域住民の安心感を醸成する地域警察活動」について意見を頂き、今後の警察活動に反映したいと考え、諮問事項とした。	
6 協議	
会長	・ キーワードは地域住民の安心感と言える。
委員	・ 説明にあったベスト地域警察官はどのような警察官が対象か。
警察	・ 犯人の検挙、巡回連絡、行方不明者の発見保護、住民の要望を聞き、適切に対応を行った等を総合的に評価し、選出している。
会長	・ 駐在所の警察官は管内をよく見回り、声掛けをしてくれるので、名前で呼んでしまうほど、親しみと安心感がある。
警察	・ 今の情勢では地域住民の方と笑って話していると仕事を怠けていると思われ、写真を撮られてSNSにあげられることもあるので昔
	記録者
	警務係長

会議の経過及び発言の要旨	
と同じような安心感を醸成する活動が難しくなっている。	
巡回連絡や地域会合へ出席して、接する機会を増やしていきたい	
と思っている。	
委員	・ どのくらいの割合で家庭を訪問しているのか
警察	・ 各警察官が受け持つ管内を概ね2年で回るようにしているが、新型コロナウイルスの影響でここ3年ほど行われていなかった。
委員	・ 交番や駐在所からのたよりにには事件、事故のことが多いが、何かいいことがあったときに記事を載せてもらうとか、勤務する警察官の紹介などすれば名前もわかり、より親しみやすくなると思う。
警察	・ 交番だよりにには特殊詐欺などの犯罪被害や交通事故発生などを紹介しているが、いいことがあったときにも明るい話題として記事を載せるというのは大変参考になる。
委員	・ 警察署での職場体験で鑑識作業をしたり、パトカー、地域警察官の装備品を見せてもらい、身近に感じられた。地域の会合や学校での講話の際に子供たちが体験できるようなものを入れてもらえると距離が縮まると思う。
委員	・ 警察に相談できる内容かを判断するのが難しい。交番だよりに具体的な事例を紹介してもらおうと助かる。多くの住民は、犯罪や事故でなければ相談できないと思っている。
委員	・ パトカーが近くを巡回してくれると安心できる。古い住宅街の小道を赤色灯をつけて走るミニパトや警察官のバイクが通ってくれて心強い。下校時間帯に合わせたパトカー、白バイなど警察官の姿が
	記録者 警務係長

